

上本部学園



学校だより
第11号

ひやく せつ ふ とう 百折不撓

令和4年6月1日

文責:校長 玉城史江

「佐伊土間橋」の橋名板に、本校3名の児童生徒の文字が採用！！

現在、並里区で工事中の「佐伊土間橋」の橋名板に本校から3名の児童生徒の作品が選ばれました。新しい佐伊土間橋に、右記の文字が刻まれます。

ぜひ、橋が完成しましたら、ご覧ください。楽しみです。

- A 全学年対象『佐伊土間橋』 中2年 滝村 瑠菜
 - C 小学生対象『満名川』 小4年 山入端 晃帆
 - D 中学生対象『令和4年5月完成』中3年 仲地 さくら
- 3名のみなさん、採用、おめでとう！！



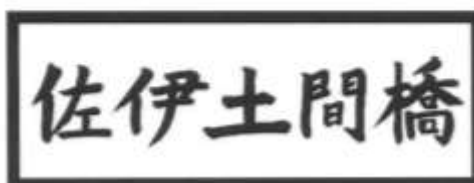
朝の光景



上本部に赴任して、2ヶ月が過ぎました。赴任して感心させられたのが、朝の活動です。美化委員会は、毎朝、花壇の手入れやプランターの水やりの活動を行って来ています。他にも、生徒玄関を掃き掃除してくれている児童生徒。教室では、窓拭きをしている姿が見られます。また生徒会役員は、二人一組で、あいさつ運動を行っています。そのあいさつは、これまで赴任した学校ではほとんどみかけない様子で行われています。生徒会役員の前を通る児童生徒に向きを変えて一人ひとりに丁寧にあいさつをします。ことばで「おはようございます」と、あいさつする光景はどの学校でも見かけます。しかし、あいさつをする相手に体の向きを変えて、あいさつを行う姿はほとんど見かけません。本校の子どもたちの質の高さが伺えます。ただ、残念なのが、あいさつを返してくれる人が、少ないということです。ある企業の講話で、あいさつは、社会に出て、一番必要とされると話しておられました。また企業によっては、新入社員に街頭でのあいさつ指導を徹底する会社もあるほどです。高校入試や採用試験でも、あいさつからはじまります。普段からあいさつをする習慣のない人にとって、ただでさえ緊張するこのような場ではファーストコンタクトとなるあいさつは難しいものです。

先日、3年生の美化委員でしょうか。校門のプランターに水やりに向かっているところに、後輩が登校してきました。そのことに気づくとすかさず「〇〇、おはよう」と声をかけました。声を掛けられた方も「おはようございます」と応答。中学部のすてきな姿です。こんな光景が、誰でも当たり前のこととして行えるようになると、本当の意味で上本部学園は素晴らしい学校といえるでしょう。

A. 全学年対象 (小学生・中学生共通)



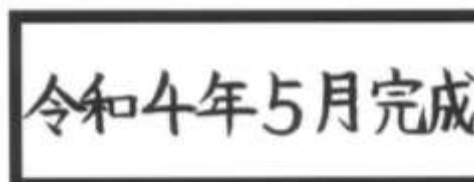
上本部学園 中学部2年 滝村 瑠菜 さん

C. 小学生対象 (小学校1～6年生のみ)



上本部学園 小学部4年 山入端 晃帆 さん

D. 中学生対象 (中学校1～3年生のみ)



上本部学園 中学部3年 仲地 さくら さん

【6月の主な行事予定】

- 1日 人権の日・中央委員会
学びのたしかめ(中学部)
- 3日 読み聞かせ・中体連夏季総体激励集会
- 4日 第49回国頭地区夏季総体(～5日)
- 6日 中学部振り替え休・クラブ活動
- 8日 専門委員会
- 9日 歯科検診
- 10日 読み聞かせ・不審者侵入対策訓練
- 17日 読み聞かせ・平和集会・校内研
- 22日 PTA 運営委員会
- 28日 授業参観
- 30日 中学部期末テスト(～7/1)